



2023
vol.5

赤十字しが

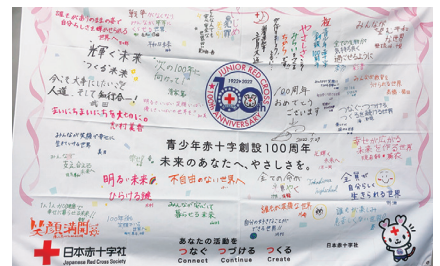
1922年、滋賀県内で始まった青少年赤十字活動。
次の100年も、多くの子どもたちに気づきと出会いの場をお届けしていきます。



青少年赤十字

児童・生徒が赤十字理念に基づく人道的価値観を身につけることを目的に、学校教育の中で活動しています。

1922年、守山尋常高等小学校（現・守山市立守山小学校）で日本初の青少年赤十字が誕生し全国に普及して、2022年に100周年を迎えました。



Contents

- しがの赤十字活動レポート ～令和4年度滋賀県支部この1年～
- 令和4年度日本赤十字社滋賀県支部 決算のご報告
- 赤十字ボランティアって何？ ～知ることで広がる優しさの輪～
- 災害への備え ～自分にしかできないことは自分で備えよう～



日赤滋賀県支部
WEBサイト



NISSEHI.SHIGA
Instagram

しがの赤十字活動レポート

4月 地域で活躍する赤十字ボランティアのリーダーを養成

～赤十字奉仕団委員長会議・研修会を開催～

滋賀県支部では、赤十字の理念に賛同し、地域で活躍する赤十字奉仕団員の養成に取り組んでおり、令和4年度も県内赤十字奉仕団50団の委員長を対象とした会議・研修会を開催しました。

委員長らは、組織強化についての講義や委員長として必要な資質を学ぶプログラムを通して、委員長としてのスキル向上を図ったほか、グループワーク等で地域を超えて交流を深めました。

これから団員を率いて、各地域において活発な奉仕活動を展開していきます。



5月 「赤十字運動月間」キャンペーン

～SNSを利用した新たな広報活動を展開～

日本赤十字社では、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創設された日に加え、赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生日でもある5月を「赤十字運動月間」として、より多くの皆さまに赤十字の理念や活動の普及とご協力を呼びかけています。

滋賀県支部では、新たにSNSを利用したハッシュタグキャンペーンを行ったほか、SNSから情報を発信することで、幅広い世代への赤十字活動の見え方に努めました。



6月 災害救護に対する知識や技術の習得のために

～医療救護班研修会を開催～

災害救護活動についての理解を深め、医療救護班の役割や責任を明確にし、知識および救護資機材の使用方法を習得することを目的に、医療救護班研修会を開催しました。

救護班要員は、医療救護班としての基本的な知識をはじめ、無線機などの救護資機材の使い方、こころのケアについて学びました。

災害はいつ起こるかわかりません。各赤十字病院の職員は、平時から日本赤十字社の救護班要員である自覚を持って、研修や訓練に臨んでいます。



7月 これまでを見つめ、これからの100年につなぐ

～日本初の青少年赤十字が滋賀で誕生し100年。記念大会を開催～

7月29日、滋賀県支部は「青少年赤十字創設100周年記念滋賀県青少年赤十字大会」を守山市民ホールで開催しました。大会では、これまでの歩みを振り返るとともに清家篤社長と三日月大造支部長から、活動に尽力した学校・個人に表彰状等が贈呈されました。また児童や指導者による活動報告、元プロ卓球選手の水谷隼氏による講演がありました。県内外から集まった指導者ら約600名は改めて青少年赤十字活動の普及を誓いました。



8月 大切な子どもの命、私の手で守りたい

～幼児安全法支援員養成講習会を開催～

8月2日・3日の2日間、幼児安全法支援員養成講習会を開催し、県内各地より12名の方に参加いただきました。参加者は、指導員による講義や実践を通して、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、病気への対応などを学びました。

参加者からは、「心肺蘇生法などの救命手当だけでなく子どもの見守りや事故の防止など幅広く知ることができてとても充実した講習会だった」との声が寄せられました。



9月 もしもの時に備える防災

～守山市立守山小学校で防災学習を実施～

日本赤十字社では学校や自治会などに出向き、災害への備えや身近なものを用いた防災グッズの作成、応急手当、非常食づくりなどの防災学習を行っています。

守山市立守山小学校では、5年生が総合的な学習の時間を活用し、避難所での生活や、もしもの時に備える防災グッズについて学び、また、新聞紙を用いたスリッパとお椀を作成するなど、防災への理解を深めました。



11月 経済団体と連携し、社会課題の解決に取り組む

～経済団体の講習会に救援物資等を展示～

滋賀県支部は、滋賀県中小企業団体中央会、同青年中央会と連携し、各種イベントへの出展、防災セミナーの開催等の事業を行っています。

11月25日に開催された組合青年部全国講習会では、赤十字活動紹介パネル、救援物資等を展示し、参加された青年経営者から、「滋賀県のような連携の仕方があることを知れてよかった。持ち帰って検討したい」など日赤と連携して社会課題を解決していくことに前向きにお話いただきました。



3月 遠く離れた被災地に思いを馳せて

～トルコ・シリア地震救援金街頭募金活動を実施～

2月6日にトルコおよびシリア地方で発生した地震災害を受け、赤十字社が行う救援活動や復興支援等に使用する資金を募るため、3月5日にJR草津駅において、青年奉仕団と防災支援奉仕団が合同で街頭募金活動を行いました。

当日はたくさんのご協力をいただき、参加した団員からは「私たち奉仕団員だけでなく、募金してくださった方の思いも被災地に届くことを祈っています」との感想が寄せられました。



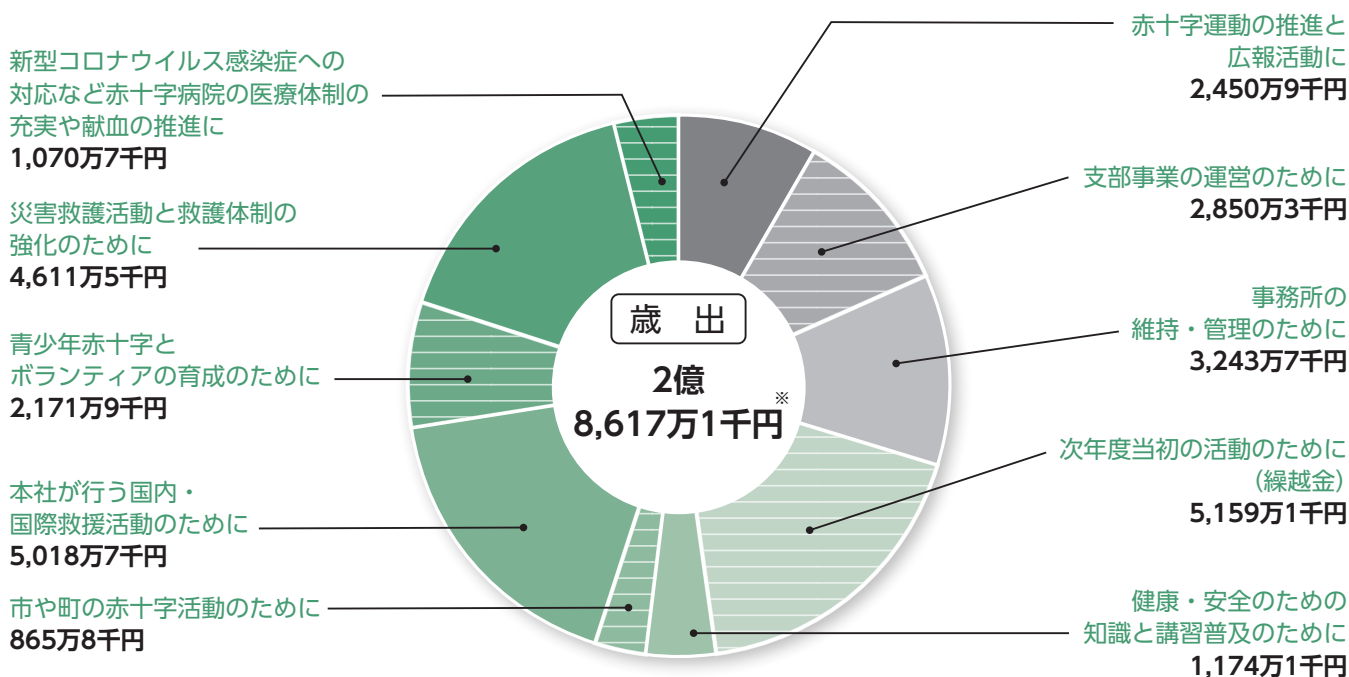
歳入

活動資金収入 …………… 2億448万円
その他の収入 …………… 8,169万1千円

歳入合計 …………… 2億8,617万1千円

歳出

2億
8,617万1千円[※]



※ 千円未満を切り捨てているため、円グラフの合計金額と各項目の合計金額は一致しません

活動資金ご協力法人・団体様のご紹介

日本赤十字社滋賀県支部の活動は、皆さまのご支援に支えられています。
活動資金のご協力、誠にありがとうございます。

- ・有限会社川端電工社
- ・有限会社三王都市開発
- ・株式会社セラマ
- ・一般財団法人滋賀県民間福祉振興財団
- ・株式会社近江潜建
- ・甲賀高分子株式会社
- ・株式会社ヤサカ
- ・日星自動車株式会社
- ・ルミフィールドジャパン株式会社
- ・株式会社一色製作所
- ・中央環境サービス株式会社
- ・田中シビルテック株式会社
- ・熊谷電工株式会社
- ・有限会社岡田工業
- ・あさの内科クリニック
- ・滋賀双葉ビル整備株式会社
- ・株式会社ライフリリース
- ・明治安田生命保険相互会社
- ・日本ソフト開発株式会社
- ・医療法人社団布施内科医院
- ・近江ユニキャリア販売株式会社
- ・花文造園土木株式会社
- ・株式会社東洋石創
- ・株式会社西寄組
- ・有限会社彦根サッシセンター
- ・有限会社CN産業
- ・株式会社久木野工務店
- ・株式会社斉戸電気商会
- ・甲賀システム株式会社
- ・三陽建材有限会社
- ・三陽輸送株式会社
- ・トヨタモビリティ滋賀株式会社
- ・株式会社佐藤医科器械製作所
- ・株式会社内田工業
- ・有限会社トータルショップ・SOS
- ・アクア株式会社
- ・株式会社サンミュージック
- ・有限会社天平フーズ
- ・滋賀県中小企業青年中央会

※令和4年度中に5万円以上の活動資金をお寄せいただき、掲載をご了承いただいた法人・団体様のみ掲載しております。(敬称略・順不同)
上記以外に32社・団体の皆さまからもご支援いただきました。

赤十字ボランティアって何？

～ 知ることで広がる優しさの輪 ～

「困っている・苦しんでいる人の役に立ちたい」という思いを持った仲間が、その思いを結集し、さまざまなボランティア活動を行っています。日本赤十字社の活動は、このようなボランティアによって支えられています。あなたも、“困っている人、苦しんでいる人の役に立ちたい”という思いを行動に移してみませんか？



地域赤十字奉仕団

主に、高齢者見守り活動や子どもの健全育成活動、災害救護・防災活動、赤十字のPR活動などを行っています。地域のために一緒に活動しませんか？

防災支援赤十字奉仕団

私たちは災害救護活動への支援や、防災・減災の普及活動に取り組んでいます。趣味や特技を活かして活動していただけます。“共に備え、共に学ぶ” 私たちと一緒に活動しませんか。



青年赤十字奉仕団

おおむね18歳～30歳の社会人や学生などで組織されています。献血呼びかけ活動や街頭募金活動に取り組んでいるほか、災害救護や防災について学んでいます。若い力で赤十字を盛り上げていきましょう！

お問い合わせ先

日本赤十字社滋賀県支部
077-522-6758 (平日) 9:00～17:30



災害への備え



～自分にしかできないことは自分で備えよう～

過去の災害で無くて困ったものにはあげられたのは、
普段飲んでいる薬の情報、下着、本人確認ができる身分証明書などがありました。
災害発生後の暮らしをつなぐためには、まず自分自身で日頃から備えることが大切です。

防災チェック

チェックリストにあるもので、一人ひとつ避難バッグを作ってみましょう。

貴重品

- 現金(小銭を含む)
※公衆電話用に10円玉、100円玉も
- 印鑑
- 予備の眼鏡
- ※以下の2つは、現物が持ち出せなかった場合に
備えてコピーを入れておく
- 健康保険証
- 身分を証明できるもの
(学生証、パスポートなど)

便利品

- ヘルメット
- 懐中電灯(予備電池も含む)
- 笛やブザー(音を出して知らせるもの)
- 万能ナイフ 使い捨てカイロ マスク
- ビニール袋
- アルミ製保護シート 毛布 スリッパ
- 軍手 マッチライター
- 給水袋 雨具(レインコート、長靴など)
- 簡易トイレ

情報収集用品

- 携帯電話(充電器を含む)
- 携帯ラジオ(予備電池を含む)
- 家族の写真(はぐれた時の確認用)
- 家族との災害時の取り決めメモ
- 筆記用具



食料

- 非常食
- 飲料水



清潔・健康のためのもの

- 救急セット
- 常備薬・持病薬 タオル
- トイレ用紙
- 着替え(下着を含む)
- ウエットティッシュ
- 生理用品
- 歯磨きセット
- 消毒できるもの
- 体温計
- ビニール手袋



参考：日本赤十字社防災教育事業「災害の備え」

ローリングストック ご存知ですか？

ローリングストック(日常備蓄)とは、食料を定期的に食べ、
食べた分を買い足して備蓄する方法です。これにより災害時にも
普段から食べているモノを食べることができます。

